

れい わ ねん がつ とおか げつ ぜんこうちょうかいこうちょうこう わ
令和7年3月10日(月) 全校朝会校長講話
へい わ あんのん ねが
平和と安穩を願って

おとといの3月8日土曜日に、合唱団のお別れコンサートがこの体育館で行
われ、保護者や地域の方々が多くいらっしゃいました。卒業する6年生をはじめ、
合唱団の団員のみなさんの歌声を聴くと、いつも心が元気になります。改めて、
合唱団のみなさんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございますま
す。

さて、今日3月10日は「東京都平和の日」です。今から80年前の昭和20
年(1945年)3月9日から10日に日付が変わったころの真夜中、東京の深川、
本所、浅草、日本橋の空から、たくさんの爆弾(※)が落とされ、焼け野原となり
ました。「東京大空襲」と呼ばれています。大田区でも、同じ年の4月に空襲が
あり、多くの被害がありました。私たちの住んでいる場所で、そのような歴史が
あったことを覚えていてください。

また、明日の3月11日で、東日本大震災から14年がたちます。児童のみな
さんが生まれる前に起きた、とても大きな地震でした。災害は、いつ、どこで起き
るかは分かりません。これは、避難訓練のときなどでもお話していることです。
自分の命をいかに守るか、いつも考えてほしいと願っています。校長先生の
お話、終わります。

(※) 正確には焼夷弾ですが、発達段階等を考慮し、爆弾と表現しました。